

9月は老人保健福祉月間です。

秋田市の六十五歳以上の人口は五七、九八一人平成十三年十月現在で、全体の一八・二％。五・五人に一人が高齢者ということになります。

年齢を重ねてなお若々しく生活していらっしやるかたもたくさんいます。

創作ダンスを通して、見る人たちに元気を与えてくれている「レインボーめいとく」のみなさん。体に染み付いた 技 を活かしてみんなから喜ばれる仕事をしているシルバー人材センター会員。地域に貢献しようとする頑張る笑顔が素敵です！

シルバーパワーが 地域に元気を 吹き込みます。

踊ることで、見る人も私たちも、若返ります。

レインボーめいとく

五年前のヤートセ秋田祭への出場を機に結成され、現在、メンバーは約五十人。最高齢は八十歳！ 毎年ヤートセの踊りに参加し、今年も準大賞となるほどの実力があります。老人ホームなど、施設の慰問にも積極的です。「私たちの踊りで、みんなを元気づけたい！ いきいきしたお年寄りの表情を見るのは楽しいですね」とメンバーのみなさん。「踊りはみんなを若返らせませす。踊りの輪が全市に広がるといいですね」と話してくれました。



八橋老人デイサービスセンターのみなさんと交流しました



近藤航 さん
(飯島南小 6年)

第1席

やさしい手 みんなで広げる ふくしのわ

九月の老人保健福祉月間にちなみ、今年度は旭南小、飯島南小、城南中から敬老標語を募集しました。入選したみなさんをご紹介します。

老人保健福祉月間

標語・看板デザインの 入選作品決定！

おばあちゃんがぼくにくれたもの。それは、やさしい心です。ぼくには、六十四歳も年がはなれたおばあちゃんがいいます。ぼくは、ひざの少し悪いおばあちゃんの足をもんであげています。おばあちゃんは、もんだ後に、きまって「ありがとう」といつてくれます。ぼくは何のためにするのだろう。それは、おばあちゃんが喜ぶ顔が見たいことと、「ありがとう」を聞きたいこと、そして何よりも「やさしい心」を分けてもらえるからです。世界のおばあちゃんやおじいちゃん、のやさしさや、笑顔を大切にしたいと思います。これからも、今まで以上に「やさしい手」を伸ばしながら、一緒に歩いていきたいです。「やさしい手 みんなで広げるふくしのわ」の姿のよつて。